

No.12 キャリア教育全体計画例(4) (大竹市立小方中学校)

めざす学校					
経営理念・中期経営目標『基礎・基本の徹底と人間力を育む教育活動の推進』当たり前のこと当たり前にできる学校づくり 『めざす学校像』					
地域に開かれた明るく活力ある学校 学校力の向上 ・自ら学ぶ意欲、思考力、判断力などの「生きる力」を育む学校 ・生き生きと活動し、明るく楽しい学校 ・一人一人を大切にし、地域に信頼され開かれた学校					
めざす生徒像		平成19年度 学校教育目標		めざす教職員像	
社会性を身につけ、将来の生き方をしっかり考える生徒 人間力の育成 知徳体 値値あるものすべてを学びどうとする意欲ある生徒 やさしい、豊かな心で自他とも大切にする生徒 健康でたくましい気力、体力をもつ生徒		確かな学力と豊かな人間性を身に付け、主体的に行動する生徒の育成 キャリア教育を視点にした教育活動を通して~ 重点目標 ① 基礎・基本の確実な定着を図る授業づくり ② 安心して生活できる居場所づくり ③ 保護者や地域に開かれた明るく活力のある学校づくり		教育公務員としての自覚を持ち職責を遂行する教職員 教師力の向上 ○ 明るく感性豊かな人間性をもっている教職員 ○ 生徒への教育的愛情と教育への使命感をもっている教職員 ○ 向上心と豊かな見識をもっている教職員	
生徒、保護者の状況		平成19年度 キャリア教育の目標		平成19年度 進路指導の目標	
将来何らかの資格を取得したり、将来何らかの職業につかねばならないという意識は低くはない。自分のよさに気づいたり、自分に自信がある生徒の割合が低い。保護者のキャリア教育に対する期待は比較的高く、学校の教育活動にも協力的である。		望ましい勤労観・職業観を育成し、主体的な進路選択が出来る資質を身につけさせる。		生き方にかかわる指導を基盤として、互いの個性を尊重しあうなかで、自らの生き方を自覚し、将来を見通した主体的な進路選択を行い、目標に向かって努力する生徒を育成する。	
各学年の指導目標					
キャリア発達に関する諸能力と学級活動における進路指導	第1学年	第2学年	第3学年		
	ホップ『夢を見つけよう』	ステップ『夢を大きくくらませよう』	ジャンプ『夢の実現に努力しよう』		
人間関係形成能力	○自分の良さや個性がわかる、他の個性を理解し尊重することを通して、自己を正しく理解する。 ○あいさつができる。 ○他者にかかわることができる。 ○新しい環境や人間関係に適応することができる。	○自己を見つめるなかで自他のよさや個性を理解し、相手の意見や立場を尊重して、日々の活動に生かす。 ○時と場合に応じたあいさつができる。 ○他者に配慮することができる。 ○積極的に人間関係を築こうとする。	○自分を客観的・肯定的に見つめるとともに、他者の個性や良さを理解し尊重する。 ○時と場合と相手に応じたあいさつができる。 ○他者に配慮しながら、自分の意思を伝える。 ○地域社会を含め、より幅広い人間関係の大切さを理解する。		
学級活動における「進路適性の吟味」	○自分のよさに気づき、伸ばそうという意欲がもてるよう、友人の理解を通して自分を知る活動から客観的に自分を知る。	○自分のよさに気づき、伸ばそうという意欲がもてるよう、多面的に自分自身をみつめ自分を知る活動から客観的に自分を知る。	○自分のよさに気づき、伸ばそうという意欲がもてるよう、職業適性や進路適性などから客観的に自分を知る。		
情報活用能力	○大竹市の産業やその仕事を支えている人を知る。 ○生き方や進路に関する情報を調査する方法が分かる。	○生き方や進路に関する情報を様々な方法で調査・収集し活用する。	○生き方や進路に関する情報を様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。 ○必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表する。		
	○職業について理解を深める。 ○係・委員会活動で得た課題を知る。	○職場体験を通して、働くことの意義や喜び・苦労などを理解する。	○将来的夢や目標を実現するために、今何を努力すべきかを理解する。 ○将来的職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。		
学級活動における「進路情報の活用」	○生き方を学ぶ題材を設定し、地域の社会人や職業人の講話を聞いて情報を得る。	○勤労や奉仕の体験を通して、生き方や進路の多様性を理解する。 ○学び制度と機会、学校調べをして発表する。	○自分のよさを發揮し、個性を伸ばす進路を探索するために、当面する進路に関する情報を収集し、整理してまとめる。また、上級学校を訪問、見学、体験入学して、その結果をまとめ発表する。		
学級活動における「望ましい職業観・勤労観の形成」	○様々な職業及び職業生活について理解するため、地域の職業調査を行ったり、職業人や福祉団体関係者の講話を聞く。	○職場体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを知り、職業・勤労の目的や意義を理解する。	○職業・勤労の目的や意義を、職業を通して社会の一員としての役割を果たし、自己的能力・適性を発揮しているという視点から理解する。		
将来設計能力	○集団の中での自分の役割が分かる。 ○日常生活や学習と将来の生き方との関係を理解する。	○係や委員会の仕事を積極的に引き受け、自分の役割やその進め方が分かる。 ○様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。	○最高学年としての自覚をもって、リーダーの役割を積極的に果たすとともに、よりよい集団活動のための役割分担やその方法が分かる。 ○地域における自分の果たす役割について考え、その役割を果たすようする。 ○将来的進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。		
	○将来の夢や希望を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。	○進路計画を立てて、自分の目標を達成する。	○これまでの自分振り返り、個人史をつくるとともに、将来の夢や職業を思い描き、進路計画を立てる。		
学級活動における「将来設計」	○これまでの自分振り返り、個人史をつくるとともに、将来の夢や希望を思い描く。		○これまでの自分振り返り、将来の夢や職業を思い描き、ライフプランを作成する。		
意思決定能力	○自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。	○選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。	○自らの意思と責任でよりよい選択・決定をする。 ○教師と保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。		
	○生活や学習を振り返る。 ○よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指していくことの大切さを理解する。 ○課題に取り組み、解決していくとする。	○生活や学習を振り返り、次の場面に生かす。 ○よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して、自らの課題を見出していくことの大切さを理解する。 ○課題に積極的に取り組み、解決していくとする。	○生活・学習や線路選択の過程を振り返り、次の選択場面に生かす。 ○よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して、自らの課題を見出していくことの大切さを理解する。 ○課題に積極的に取り組み、主体的に解決していくとする。		
学級活動における「主体的な進路選択」	○人生における進路選択について理解する。	○自らの意志と責任で生き方、進路を選択することを理解する。	○卒業後の進路選択において、目的や理由の明確化、選択肢の理解、選択の条件や必要な努力についての理解、選択の結果とその受け止め方、選択のためのスキルを学習する。		
各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	その他	
○「学ぶ」ことの意義と各教科における「学び」を理解させるとともに、今の学習の必要性や大切さを理解させる。 ○キャリア発達に関わる諸能力との関連をふまえた授業づくりをする。 ○生徒指導の三機能(自己存在感・自己肯定感・自己有用感)を生かした授業づくりをする。 ○授業のねらいや目標を明確に、振り返りやまとめを行う授業づくりをする。 ○主体的に学習活動に取り組ませ、計画的に自己学習ができる工夫をする。 ○将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能を習得させる。 ○教科の中で自己的能力・適性を知り、伸ばしていく能力を身につけさせる。	○よりより生き方について様々な角度から考えさせることが通じて価値観を高め、道徳的資質を養う。 ○互いの個性を理解し尊重しあうことができるようになる。 ○人の生き方、人生の有り様について、その多様性を理解せるとともに、自分の将来の生き方や生活について夢や希望をつなげることができるよう、また、それを実現させるための進路計画を立て、自らの意志と責任で生き方、進路を選択することができるようになる。 ○生徒一人一人が自己存在感を持って楽しく学べる学級づくりをする。 ○学習の仕方、計画の立て方や学び合う態度を育て、基礎学力の充実を図る。 ○個々の生徒にキャリアカウンセリングを行い、キャリア発達の支援及び適切な進路選択が出来るようにする。	○人の生き方や進路に関する興味や関心を広げ、将来の生き方や進路との関連で自分を知ることができるようになる。 ○働くことの意義を理解させ、将来、職業人・社会人として積極的に社会にかかわり、生きていけるある人生を築こうとする意欲・態度をもつことができるようになる。 ○人の生き方、人生の有り様について、その多様性を理解せるとともに、自分の将来の生き方や生活について夢や希望をつなげることができるよう、また、それを実現させるための進路計画を立て、自らの意志と責任で生き方、進路を選択することができるようになる。 ○生徒一人一人が自己存在感を持つて楽しく学べる学級づくりをする。 ○学習の仕方、計画の立て方や学び合う態度を育て、基礎学力の充実を図る。 ○個々の生徒にキャリアカウンセリングを行い、キャリア発達の支援及び適切な進路選択が出来るようになる。	○学校内の諸問題に関心を持ち、矛盾に気づく感受性と自己の意識を持たせる。 ○個人と集団の思いをつなぐ民主的な筋道を学び、社会と関わっていき主体性を育てる。 ○集団の一員としての自覚と連帯感の高揚を図る。	○地域学習によって地域について学び、地域から学び、地域のための学ぶことを通して、課題解決能力やコミュニケーション能力の育成を図る。 ○地域学習・生き方学習創造表現学習を通して、自己を見つめ、自己の生き方を考える思考力、表現力の育成を図る。 ○保護者、地域社会・小学校・高等學校などの関係諸機関との連携を図る。	
キャリア教育実践のための基盤					
進路指導の充実と学年・学級経営の充実	全教職員の協力体制の確立と研修の充実	関係諸機関との密接な連携	保護者・地域との連携	進路情報収集と効果的な活用	
○望ましい学級づくり ○よりよい人間関係づくりと自己存在感・自己肯定感・自己有用感の育成 ○基本的生活習慣の育成	・教育相談・進路相談 ・諸調査・面接指導 ・研修	・小・中・高との連携 ・他校との情報交換 ・職業安定所との連携	・体験学習を通じた地域との連携 ・PTA活動の取り組み ・学校説明会・進路説明会	・進路情報の収集と効果的な活用	